

山行報告

■桶居山歩荷トレーニング

＜アルプ&一般参加＞

- 日 程：9月19日(土)
- 参加者：L竹内 SL松下 須増 三木(悦)
- 行動記録：駐車場7:03 発～馬の背鉄塔(7:18 着)7:22 発～馬の背ピーク(7:41 着)7:50 発～鉄塔(8:20 着)8:30 発～桶居山(9:30 着)9:55 発～途中休憩(10:45 着)10:55 発～馬の背ピーク(11:42 着)11:48 発～駐車場(12:20 着)

◆目指せ！桶居山

三木(悦)

今回の歩荷トレーニング、山行計画ではアルプ&一般参加となっていたが、暑い中の歩荷を敬遠したのか一般参加者はなくアルプメンバーだけの参加となった。

山行日の1週間前までは毎日暑い日が続き、高御位山周辺を長時間歩く気持ちにはなれなかったが、登山靴を履きザックを背負う感触を思い出すため参加することにした。

今週に入りやっと朝夕涼しくなったが日中は未だ暑く、桶居山往復は想定内の厳しさだった。

まずは馬の背登山口から縦走路尾根まではその日の体調をはかり、その後桶居山往復を体力配分して歩くことにした。

登り始めると、重いザックを担いだリーダーはいつもと何ら変わらない歩き方でスタスタと登っていった。毎度のことながら基礎体力の違いを感じる。桶居山までついて行けるだろうか？皆、不安になったと思う。

山行目的は歩荷トレーニング、コースは馬の背から桶居山ピストン、歩行時間4時間、ザック重量は男性20kg、女性15kg、各自変更可と山行案内には記載されていた。

Lは目標超えの21kg、Mさんはほぼ目標に近い14kgだそうだ、私とSさんはしばらく自主トレを怠っていたので、“重量は各自変更も可”のお言葉に甘えて減量して参加した。とは言え、私にとって日帰り山行のリーダー装備プラス水3リットルの重さはしばらく忘れていた重量である。

当日は良い天気となり太陽が容赦なく全身を照りつけていった。絶えず汗が流れるので体力消耗の前に水分プラスαは行動中もこまめに取り入れた。

時折吹く風と足元の桔梗に励まされながら歩くが、残暑は厳しくかわいい山容の桶居山は中々近づいてくれなかった。

行動時間5時間17分、終われば大きな達成感に変わった。冬には15kgを目指したい。皆さんお疲れ様でした。



■紫電改と戦争遺跡見学

- 日 程：9月26日(土)
- 参加者：La 垣内 SLa 尾内 天野 内海 小田 澤田(卓) 澤田(律) 藤田 矢根
Lb 砂川(延) SLb 平井 生永 泉 木畑 黒本 佐野 春本 廣岡 吉村
- 行動記録：駐車場9:00 発～紫電改格納庫(9:05 着)9:35 発～平和記念の碑(9:50 着)9:55 発～巨大防空壕(シアター)(10:20 着)10:40 発～機銃座跡(10:45 着)10:55 発～門柱(11:00 着)11:05 発～素掘り防空壕(11:10 着)11:15 発～弾薬庫(11:20 着)11:25 発～神戸大内施設(11:45 着)11:50 発～駐車場(12:20 着)

◆紫電改見学・旧鶉野飛行場滑走路・戦争遺跡を歩くに参加して 泉

現地9時集合、備蓄倉庫前の広場でいつものように体操をして今日の山行開始です。

ボランティアガイド吉田様の案内です。局地戦闘機「紫電改」が格納された大きな備蓄倉庫の前面の折たたみ式の扉をオープン、目の前に実物大模型の紫電改が姿を現す。第1・3日曜日には格納庫から前の広場に出されます。

第二次世界大戦末期に「紫電」の改良機としてフラップ装着で製

造された紫電改は巾12m・長さ9m・高さ4m・2000馬力・最高時速600kmの一人乗り戦闘機です。飛行場滑走路1200mの隣にあった工場で510機がこの鶉野で製造された。

8ヶ月の短期間で作られた滑走路を使い僅か3ヶ月・30時間の飛行訓練で500名のパイロット達が各地の海軍航空隊へと赴任されました。当時三本の滑走路があったそうですが、コンクリートの1200mだけが当時のまま残っています。他の二本は土を押し固めただけのものであったため戦後農地へと変わっていった。

丁度真ん中辺りに平和記念の碑があり、この地で訓練したのち戦地に赴き亡くなられた方訓練中に亡くなられた方々63名のお名前が刻まれた碑が平成11年に元隊員やご遺族・地元有志等により建立されたものです。

滑走路を通り抜けると地下防空壕や外部は小山に見える巨大防空壕跡(自力発電所を備えていた)があり、その壕の中に入りコンクリートに映し出される特攻隊員の親兄弟に宛てた手紙(原文のまま)が読まれると母・妻・子としての心情を思いやり胸が痛く涙が溢れそうになりました。地上に出たその先には円形の対空機銃座跡があり5000m上空まで達すると説明にあるが果たして敵機をとらえることは出来たのだろうか。そこを少し引き返し南へ下ると防空壕跡が当時のまま多数残されていた。

狭く暗い壕の中に多くの人が息をひそめていたのかと驚いた。またその先には爆弾庫跡があり、コンクリートの壁は70cm天井は1mの厚みで1t爆弾にも耐える構造になっていた。

そこからはスタート地点へと帰ります。途中に「火垂るの墓」のロケに使われたと云う道が



あった。私の実家の1kmほど東に川西工場があり飛行機の部品を作っていたらしい。

空襲を受け跡形もなく荒れていたが子供のころに遊びがてら見に行ったことがある。コンクリートやガラスの瓦礫が山になっていたのを覚えている。

父は学徒出陣で招集されたが外地には赴かず92才まで長生きしました。母は実兄が飛行機乗りになり戦死しているので戦争物は嫌だと思わなかった、私も母の影響か戦争に関するものは好きではないのですが、今回参加して戦争跡地を見て一層『平和』の大切さを強く感じました。

計画して下さった垣内さんありがとうございました。

◆鶉野飛行場跡地をあるいて

藤田

余裕を持って自宅を出たがナビが古くて迷い、かろうじて集合時間に間に合った。

S工業の関連会社に勤めていたので紫電改の名前などは知っていたが鶉野飛行場の存在は知らなかった。

数年前から加古川駅構内の市民ギャラリーで、紫電改の写真をパネル展示していたので見に行った、また10日ほど前の新聞では加西市が修学旅行を40組程度の受け入れ計画をしているとか、保存会では実物大の二式大艇を寄付で募って製作する等よく鶉野飛行場の名前を目にするようになった。今は資料館だけであるが2年後には記念館も完成するとか。



紫電改は美しい緑色を基調に塗装され展示されている。現在滑走路が1.2KM残っているが元はこれに交差する2本の滑走路もあった。

対空機銃座跡、弾薬庫跡、防空壕跡等ガイドさんに案内して頂いたが壕跡の一つで映画を見た。若い特攻隊員が出撃前日に送別会をしてもらい母親への遺書を書き残す映画である。痛ましいが何故ここまで自爆を促す必要があったのか。その結果、現在日本の繁栄と我々が在るとは思いたくない。映画の題名は望空郷（防空壕）である。誰一人帰郷を考えて飛び立って往かなかったであろう。

昭和20年3月に紫電改が生産開始され8月には終戦を迎えている。63名の隊員が戦死している。既に敗戦が決まっているのに実に悲しくて空しい遺跡である。

■お月見ビバークV

●日 程：10月1日(木)夕～2日(金)朝

●参加者：L佐々木 SL平井 野村 三木(勉)

●行動記録：1日 大鳥居 15:30 発～桶居分岐 16:20～ビバーク地点(16:30 着)

2日 野営地 7:15 発～桶居分岐 7:25～大鳥居(8:15 着)

◆お月見ビバークに参加して

三木(勉)

お月見ビバーク、山行はほぼ1年ぶりです。約10キロのリュックを担ぎ登れるか自信がなかった。体力増強のため直前の自主トレに参加、又前日に高御位に登り俄か体力づくりに励む。結果当日やっと無事登れた。

午後3時半鳥居下に全員4名集合少なめだがこぢんまりと良い。約1時間で目的場所に到着する。太陽は西方、瀬戸内海に沈みかけていた。東方より満月がのぞいてきた。まさに月は東に日は西にである。雲一つない空、言うことなし。早速、各自ツェルト、シュラフマット等寝床の準備にかかり如何にか終了する。



お月見ビバーク開始、あたりは夕闇深く満月で明るい。Lの奥さん手作りのお月見団子を頂く。適当に甘くたいへん美味しかった。

焼肉、焼き鳥他酒盛りが始まった。山のうえて酒を飲み焼肉を食う、頭上は中秋の名月。各自話も弾む中、持参のハーモニカで荒城の月、故郷、赤トンボなどを歌う。まさに、非日常である。宴会も終了、いよいよビバーク。翌朝、そう寒くもなく起床。雲一つなく昨日に続き晴天。来年も参加したい。

◆Lのお月見雑感

佐々木

- ・今年のお月様は今までで一番見ごたえがありました。
- ・酔って斜面を転がり落ちる方もなく、寒さで風邪をひいた方もなく、(二日酔いは発生しましたが)今年も無事終了することが出来ました。今年で5年目(一度は雨で中止)です。
- ・こんな山行(?)がよくもまア続いたものだと・・・こんな山行だから続いたのかも??
- ・年々食糧が豪華になり、次回はビバークでなくお月見キャンプに格上げも考えなくちゃ。

■鬢櫛山・苦編山縦走

●日 程：10月3日(土)

●参加者：La 島谷 SLa 安田 徳本 田中(重) 松浦 村上 吉村

Lb 澤田(律) SLb 黒本 天野 佐野 中村 苦瓜 福原

Lc 矢根 SLc 森本 生永 笹木 田中(由) 春本 福田(正)

●行動記録：播磨高岡駅 9:25 発～登山口(9:30 着)～びんぐし山(10:15 着)10:15 発～もみとり山(10:40 着)10:45 発～西庄トンネル上・鉄塔2つ目(11:20 着)11:20 発～苦編山(12:00 着)12:30 発～城之台(13:00 着)13:10 発～本徳寺前(13:25 着・ストレッチ)13:30 発～英賀保駅(13:40 着)

◆びんぐし山・苦編山縦走

福原

10月3日(土)5ヶ月ぶりに山行に参加しました。天気予報通り曇り空で久しぶりに参加した私にはラッキーでした。

姫新線の播磨高岡駅からびんぐし山→もみとり山→苦編山→山陽本線の英賀保駅までの約6キロのコースでした。びんぐし山に向かう途中姫路市街や姫路城を眺めることができました。もみとり山からしばらく歩くと周りは木々で覆われている中で新幹線が通る音がしてきたので西庄トンネルの上を歩いていることが分かりました。



この先苦編山に登ったのですが最後50メートルの山登りがとてもキツかったです。

頑張った後は昼食休憩となり、久しぶりに山頂で食べたおにぎりは美味しかったです。

昼食後しばらく歩くと今度は高速で走る車の音がしたので、ここは2号線バイパスの夢前トンネルの上を通っているのだと分かりました。城之台では眼下に広畑区、飾磨区の街並みや夢前川河口が見え其の向こうには西島、坊勢島、家島、男鹿島等の島々が望めました。

山道は整備されていてとても歩きやすかったです。普段は車で側を通っていたのでしようが姫路市街から直ぐ側にこのような山道があったのか・・・と新しい発見でした。また、新緑の頃に登ってみたいです。

久しぶりに楽しい山行となりました。有難うございました。

◆鬢櫛山・苦編山縦走

松浦

10月3日土曜日、くもり、最高気温27℃、最低気温16℃、降水確率10%。

JR播磨高岡駅9時15分集合。同駅北側にてストレッチ後出発。

歩いていると、折れた枝先が、次々と足元に落ちていたり。目の前に大きな蜘蛛の巣が張っている箇所も多く。先頭を歩く、リーダーの島谷さんが、その都度通りやすいように避けてくださいました。



鬢櫛山・苦編山縦走の登山道は、鬢櫛山186m、靱取山200.1m、苦編山165.8mと低山ながら、展望が良く、姫路市街を一望でき、姫路城や、太陽公園の白鳥城が見えたり。手柄山、高御位山方面等も見え。海側は島々も眺められ。途中、聞こえる鳴き声は鹿の声だと教えていただき。

新幹線の西庄トンネルや、姫路バイパスの夢前トンネル上を越えて、本徳

寺でストレッチ後解散。JR英賀保駅迄、約6kmのコースでした。

「昨日、一昨日は、晴れて暑かったけど、今日は、くもりで暑さがマシで良かった。」と、お喋りしながら歩いていました。

小休憩時には、水分補給と塩分補給を心掛けてはいたのですが、思いの外、汗をかいてしまっていたようで、途中足がつってしまい、お手数おかけしすみませんでした、無事に山行を終えることができありがとうございました。

鬘櫛山・苦編山縦走の山行は、当初、ゴールデンウィークの4月29日に開催予定の山行でしたが、4月7日、政府の緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、山行も軒並み中止になってしまいました。今回、当初の予定日より約5ヶ月遅れの鬘櫛山・苦編山縦走の山行に、ようやく参加する事ができました。

リーダーの皆様、サブリーダーの皆様、ご一緒させていただきました皆様、ありがとうございました。

■高森ボランティア活動

- 日 程：9月19日(土)
- 参加者：佐々木 澤田(律) 島本 砂川(延) 荘所 春本 待場 和田
- 作業場所：市ノ池公園から高御位山縦走路に上がる登山道、鉄塔の下まで
- 作業内容：登山道排水路の整備作業
- 作業時間：9:00～10:00



報告：荘所

この夏に降った大雨により、市ノ池公園バーベキューサイトのトイレを越えてから登山口に至る登山道が、流水により深く掘れ返っているため、これ以上掘れ返らないよう側溝への溝の落葉や流木、土砂などを取り除き、側溝の掘り下げ作業を行った。

登山口から鉄塔までの急登する箇所も、登山道に流水が流れないように側溝の落葉を除き掘切作業を行って作業を終了した。

～高森ボランティア委員会からお知らせ～

毎月第三土曜日は高森ボランティア活動の日です。私達が歩く高御位山の登山道や土曜トレを行う平荘湖・飯盛山付近の整備、道標設置を行っています。

毎月実施前には会長からメールにて呼びかけ案内があります。活動報告の通り少人数で活動しているのが現状です。皆さんも一緒に登山道整備に参加しませんか。

11月～1月の高森ボランティア活動予定日

- ・11月21日(土) みどりの相談所前・午前9時集合：高御位山登山口から鉄塔下の登山道草刈り作業
- ・12月19日(土) 土曜トレ(市ノ池にてバーナー取り扱い)と合同で行う
- ・1月16日(土) 場所、集合時間は実施前にメールにて連絡